

映画『徘徊』 試写会のご案内

映画製作・配給 [m20 南九州]
〒885-0026 宮崎県都城市大王町53号10-2 TEL 0986-80-6028
坂元 敏志 [携帯]090-9585-8518 [Mail]m20-ss@circus.ocn.ne.jp

寒冷の候、皆様ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

現在、映画『徘徊』の自主上映運動を行っております。映画『徘徊』は、「認知症」の母と介護する娘の日常を描いたドキュメンタリー映画です。

映画「徘徊」は先日11月11日、生協の組合員様が中心の『志布志認知症を支える会』の主催にて昼夜2回の上映を行い、約700名に鑑賞いただき好評をいただきました。

今後も県内の地域で同様の自主上映会を広げたく、実行委員会のご厚意で「第2回みんなでつくる地域包括ケア学習交流会」の午前中の会場をお借りして試写会を開催いたすことになりました。

地域の生活支援に携わられる皆さまがたには是非ご鑑賞いただき地域での取組みのご参考にと考えております。御視聴の程、よろしくご案内申し上げます。

日時 平成30年(2018年)1月24日(水) 10時30分～12時

場所 鹿児島市レンブラントホテル(旧鹿児島東急ホテル) 交流会と同会場です。

内容 試写会につき **参加費 無料**

認知症の母とその娘、そして周囲の人々の姿を描いたドキュメンタリー作品。大阪北浜に住む母娘。母は認知症、娘は自宅マンションでギャラリーを営んでいる。昼夜の別なく近所を徘徊(はいかい)する母とそれを見守る娘の姿は、近所の誰もが知っている。徘徊モードが一息つけば、母娘一緒に居酒屋やバーにも立ち寄る。そんな2人の生活は6年になるが、それが母娘にとっては普通の生活であり、そんな母娘をごく普通に接する近所の人たち。認知症とともに暮らすこと、老い、そして人間とは何かを問いかけていく。監督は、セクシャルマイノリティを真正面から捉えたドキュメンタリー「ITECHO 凍蝶圖鑑」などを手がけた田中幸夫。



「マリンと娘さんの会話が心地よい。私の母がこの先マリンのようになって、温かくじっくり付き合えたらいいなと感じた。」
志布志市

「認知症の座学はたくさんありますが、百聞は一見にしかずの映画で、とてもよかったです。」
都城市

「字幕が付いていたので、非常に分かりやすく、一緒に鑑賞した高齢の母でも理解できたと思う。」
枕崎市

お申込みは、『学習交流会の参加申込書』の部署名横に『試写会参加』と記入いただきますようお願いいたします。
または『学習交流会事務局』に直接お申込み下さい。